



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

10期生卒業式
11期生入学式

10期生卒業式・

11期生入学式を開催



日本ベンジャミン人間性英才学校では、2026年4月19日、第10期生卒業式および第11期生入学式をオンラインで開催しました。全国各地の学習館には、卒業生・新入生とその保護者が集い、学習館長や担任講師も参加。オンラインを通して会場をつなぎ、その様子はライブ配信され、多くの方々から祝福と応援のコメントが寄せられました。



式典の冒頭では、校長より祝辞が贈られました。AI時代が進展する現代において、最も重要なのは「人間性」であると語られ、生徒たちがこれまで積み重ねてきた成長は、すべて人間性の向上につながっていると強調されました。また、「我理朗(アリラン)」という本来の自分と出会う喜びを通じて、共生の世界を築いていくことの大切さが伝えられ、生徒たちに深いメッセージが届けられました。

来賓からは、学校法人大谷学園理事長、衆議院議員の方々から、動画で心温まる祝辞が寄せられました。さらに、志摩市長、志摩市教育委員会教育長をはじめ地域・教育・研究など多様な分野から祝電やメッセージが届き、多くの方々への支えと期待が、生徒たちの新たな門出を力強く後押ししました。

卒業証書授与では、10期卒業生に加え、特に印象的な場面がありました。ノルウェーからの留学生で、帰国後もオンラインで学び続けた8期卒業生が、ワーキングホリデーを利用して来日し、2年越しに卒業証書を受け取ったのです。その姿は、距離や環境の壁を越えて学び続けるベンジャミン学校の精神を象徴しており、会場全体に大きな感動をもたらしました。



卒業生代表の黄智宏さんは、在学中の経験を振り返りながら、感情をコントロールできるようなったこと、そして失敗を恐れず挑戦する心が育まれたことを力強く語りました。また、「周りの人を引っ張っていきけるリーダーシップを伸ばしたい」と今後の目標を掲げ、さらなる成長への意欲を示しました。

保護者代表の吉田洋香さんからは、お子様が受け身の姿勢から主体的に考え行動する姿へと変化していった過程が語られ、「自分で考え、自分で進む力があれば、どんな未来も切り開いていける」という温かいメッセージが、卒業生と新入生に送られました。



式典後半には、卒業生と新入生による板割りパフォーマンスが行われました。卒業生はこれまでの成長の証として、新入生は未来への決意として、「挑戦」「諦めない心」といった言葉を板に込め、自らの限界に挑みまし

た。このパフォーマンスは単なる力ではなく、自分自身と向き合い、内面の決意を形にする象徴的な時間となり、会場からは大きな拍手が送られました。

その後、校長による入学許可宣言が行われ、新入生代表が「地球経営宣言文」を朗読。地球と人類の未来を見据え、自らの成長を通じて社会に貢献していく決意を堂々と宣誓しました。

式典終了後に行われた保護者交流会では、新入生の保護者から「入学式での姿を見て、すでに成長が始まっている」といった声も聞かれ、これからの学びへの期待が高まっている様子が見えられました。

式典の様子は
YouTubeチャ
ンネルに公開
しています。



Instagramで
最新情報公開中



詳しくは

ベンジャミン学校

検索